

NHKスペシャル「映像詩 里山～命めぐる水辺」
「イタリア賞」と「モンタナシネ国際フィルムフェスティバル」でW受賞

NHKスペシャル「映像詩 里山～命めぐる水辺」が、世界で最も歴史と権威あるテレビ番組の国際コンクールのひとつ「イタリア賞」で部門最優秀賞を、またアメリカで開かれた「第2回モンタナシネ国際フィルムフェスティバル」で「人と自然の共生賞」を、それぞれ現地時間 9月24日(日本時間25日)に受賞した。また、イタリア賞では、BSドキュメンタリー「アジアに生きる子どもたち お母さんに会いたい～フィリピン・ムスリムの兄と妹」がグラナロロ特別賞を受賞した。

受賞番組について

第57回イタリア賞 テレビドキュメンタリー 文化・一般番組部門 イタリア賞(最優秀賞)

第2回モンタナシネ国際フィルムフェスティバル 人と自然の共生賞

NHKスペシャル「映像詩 里山～命めぐる水辺」(2004年4月3日放送 49分)

田んぼ、小川、雑木林…。人と自然が共にくらす、身近な、そして懐かしい日本の自然「里山」。滋賀県、琵琶湖の北部を舞台に、水と密接な関わりをもってくらす人と、生きものたちの世界を、斬新かつ美しい映像で描く。

審査講評(イタリア賞)

物語・映像・編集・照明・構成・音楽すべてが良くまとまり、温かなまなざしで人と自然をみつめている。見慣れた風景を異なるアングルから捉え人間が自然の中で自然と共に生きていく様を伝えている。「映像詩 里山～命めぐる水辺」は、この他、ニューヨークフェスティバル(今年1月)の自然環境部門で金賞、上海テレビ祭(今年6月)の自然環境部門で最優秀賞など、すでに4つの国際賞を受賞。

第57回イタリア賞 グラナロロ特別賞

(生へのコミュニケーション(Communication for life)をテーマに2001年から新設された特別賞)

BSドキュメンタリー「アジアに生きる子どもたち

お母さんに会いたい～フィリピン・ムスリムの兄と妹」(2004年11月6日放送 50分)

10歳の少年ノラルディンと妹は、武力闘争の絶えないフィリピン南部のミンダナオ島から逃れてきたムスリム(イスラム教徒)の子供たち。北部のバギオで袋売りをして2年間、故郷の母親に会っていない。その母親が入院した。ノラルディン兄妹は、船代を貯めようと必死に働く。「お母さんに会いたい」その願いのために…差別や偏見、故郷を離れた寂しさの中、懸命に生きる兄と妹の半年間の物語。

審査講評

ミンダナオの宗教紛争にまきこまれ、数々の苦難に襲われる二人の兄妹の偽りのない、心打つ映像を通して、2人の将来への希望の光を伝えている。

各賞について

<イタリア賞>

1948年に設立された世界で最も古く権威のあるテレビ番組の国際コンクールの一つで、イタリア放送協会(RAI)主催。57回目を迎えた今年は、9月18日～24日までイタリア・ミラノ市で開催された。ドキュメンタリー・ドラマなど「テレビ6部門」(応募作品90)、「ラジオ6部門」(同79)「ウェブ1部門」(同11)で審査が行われた。

<モンタナシネ国際フィルムフェスティバル>

人の営みや自然・環境と人間との関係を広くとらえることを目的として昨年誕生した映像祭。シネ(CINE)は文化・自然環境問題(Cultures and Issues of Nature& the Environment)を表す。

9月22日～25日までアメリカ・モンタナ州ミズーラで開催された。